

北九州へ行こう！ Operation Tableへ寄ろう！

text 藤田千彩（アートライター）

この秋、人生4回目の北九州を訪れました。1回目はOL時代の出張で、飛行機やモノレールをつかった記憶があります。2回目はおととしの「街じゅうアート in 北九州2012」を、3回目は昨年2月「北九州をめぐるアート展 Vol.5」展を、それぞれ見るために車で行きました。今回4回目は新幹線を利用して、初めて小倉駅を見ました。どんな手段でもふらっと行ける、それが北九州ですね。なんて旅行雑誌の原稿みたい、アート話へ軌道修正をしなくては。

北九州の人たちは「文化不毛の地」と言うのだけれど、あちこち動き回ってる私からすれば「どこが？」と思うことばかり。まず、磯崎建築で知られる北九州市立美術館があります。不思議な企画展をしている群馬県立近代美術館同様、今年で40周年を迎えたそうで（それらと私も同じ年です・笑）、記念展「丘の上のタカラ箱」を11月3日まで開催中。その分館では、地元の織物である小倉織の作家による「築城則子—縞の今—」。ジャンルを横断しながらアートを楽しんでいると、分館があるリバーウォーク北九州で「街じゅうアート in 北九州 2014」が10月26日までやっています。商業施設に堂々とアート作品が占拠し、ショッピングをする人たちは作品を眺めていました。さらにオルタナティブスペースの先駆けgallery soapでは、14日から「ピシタクン・クアンタレンク：Get-out」展がはじまります。千草ホテルや八万湯という隠れアートスポットでも、タイミングがあれば何かしら展示やってるし。ほら、文化不毛どころか毛ぼさぼさ、アートファンとしては行くところいっぱいです。

実のところ今回の私、「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ 2014」に行ってから、北九州へ向かいました。福岡市内から北九州へどうやって行けばいいのだろう？とJR時刻表とにらめっこしていたのだけれど、なんとバスという手段を見つけてしまった！しかも1日140便近く走ってるし、小倉駅に着くまでの停まるバス停を見ていて「真武さんのOperation Tableに直通ではないか！」と気が付いてしまったんです。「これは行かない手はないぞ」ということで、福岡・天神のバスターミナルから「いとうづ号」に乗車！うとうとしながらも「七条」バス停で下車して、徒歩5分ほどでOperation Tableに到着、超便利。

Operation Tableでは、12月7日まで「田中朝子 travel」展をしています。

東京の人にはなじみがない名前かもしれません、関西じゃ中堅ヤリテ作家の田中朝子。彼女は版画つまりプリントする、複製つくる、という技法や方法論をもとに、平面から立体、インсталレーションなど幅広い作品を展開している作家です。「そんな作家、他にもいるじゃん」と思ったあなた、甘いです。「ちょっとおかしい」彼女の作品は「なんか笑える」のがポイント。



(写真はイメージです)



「街じゅうアート in 北九州 2014」 インフォメーション
今年4月に亡くなった國府理さん作品はここに置かれています



「街じゅうアート in 北九州 2014」 木村崇人作品のテーブルはOperation Tableで滞在制作したそうです

展覧会タイトル「travel」にある通り、この企画は「作品が旅行していく」という主旨。大阪の Gallery Nomart を出発して、愛知を経由してこれから台北へ旅するその作品シリーズは、その旅する写真は待合室の医療器具戸棚にきれいに納められているせいか、緊張感ときらめきとノスタルジーが感じられます（特に女子ならキューンとしちゃう！）。

他の田中作品も見てみましょう。例えばスリッパの写真、普通のスリッパ？もしや左右反対に置かれて撮影されてる？んぐぐ（笑）、という感覚。私のおすすめは、手術台に並べられた白い手袋たち。赤ちゃんサイズぐらいの小さなものからちょっとずつ大きくなるクレッセンドな感じ、かわいらしいけど憎たらしくも思えます。作品鑑賞にそんな感情なんか必要ない！という頭の固いあなたには、ガラスケースに入った100色の小瓶を眺めてほしいですね。色っていっぱいあるんだあ…光が差してキレイだなあ…、きっと固い頭もほぐれるでしょう。ほんわかしたところに、額に入った色水の説明書を見てください。「なんだその色の名前はあ…ほんわか again」。え、まさかそれでも、アートをバカにすんな！とお怒りですか？ ショウがない、田中作品の合間に映像作品が置かれているので、こちらをご紹介しましょう。気が付きにくいのですが、小さな Operation Table のスペースは、もうひとつの展覧会「スズキとタナカ Common Sense」も同時開催しているんですよ。タナカ＝田中朝子、スズキ＝鈴木淳、ということで、モニターの映像は「街じゅうアート in 北九州 2014」でも展示している鈴木淳の作品。乱れた文脈のように流れていくイメージに「なんですかこれ」と思いつつも見入ってしまい、こちらも「フフフ」と笑いが漏れてしまう。やっと笑ってくれましたね、真武さんが毎朝、リモコンを押しまくって小さなモニターのスイッチをつけてる苦労も報われます。

「田中さん単品もいいけど、鈴木さんとふたり合わさってジョーシキを微かに揺るがすことをねらった『Common Sense』なのよ」と真武さん。田中朝子マジックというべきか、鈴木淳の風味入りというか、いろんな味に出会えます。芸術の秋はいろいろ行かなきゃ～な季節ですが、北九州へ、Operation Table へ、ぜひ行ってみてください。鑑賞後のほんわかした気持ちに、秋の冷たい風も心地良く感じるはずです。

Operation Table <http://operation-table.com/>

田中朝子 「travel」

スズキとタナカ 「Common Sense」

2014. 09. 21[sun] – 12. 7[sun]

土日のみオープン、平日は予約制

住所 福岡県北九州市八幡東区東鉄町 8-18

phone 093-651-1215, 090-7384-8169

e-mail info@operation-table.com



手前の手術台) 田中朝子作品
奥のモニター) 鈴木淳作品



左の棚と額) 田中朝子作品
右のモニター) 鈴木淳作品

